

大塚敬節
責任編集
矢数道明

世漢方医学書集成

32 村井琴山 二

名著出版
刊



南京中医药大学图书馆版权所有

近世漢方医学書集成 32

村井琴山(二)

第11期
全30卷

昭和五十六年一月二十三日 発行

編者 大塚敬節

矢数道明

発行者 中村安孝

発行者 株式会社 名著出版

東京都文京区小石川三ノ十ノ五
電話東京(八一五)一二七〇番代
振替口座 東京七一二〇五品番

製版所 株式会社 日本写真製版社

印刷所 有限会社 伊藤印刷

製本所 辻本製本所



子約限定版

落丁本・乱丁本はお取替えます。

責任編集

大塚敬節

矢数道明

編集委員

山田光胤

寺師睦宗

大塚恭男

矢数圭堂

松田邦夫

凡 例

- 一、本書第三十二卷「村井琴山(二)」には、『医道二千年眼目編』卷之七、卷之十三までを収録した。
- 一、本書は全て影印版によって収録したが、影印にあたっては次のようにした。
 - イ、新たに柱と頁数を付した。
 - ロ、底本を縮小し、一頁に半丁ずつ収めた。
 - ハ、裏表紙や記事のない白紙は省略した。
 - ニ、本文中の蔵書印及び書き込み等は、全て省略した。
 - ホ、印刷不明な箇所は、他の版本等により補正したところもある。
- 一、底本は次の通りである。
 - 医道二千年眼目編 版本(文政十一年版) 十三卷十四冊(矢数道明所蔵)
- 一、本書収録書目の解題については、第三十一卷「村井琴山(一)」に記した。

村井琴山 二

目次

凡例.....三

医道二千年眼目編

卷之七.....三

傷寒論取舍一.....五

卷之八.....六

傷寒論取舍二.....六

卷之九.....二九

張仲景.....二三

卷之十.....二五

類聚方.....一六

卷之十一.....三三

方極.....三三

卷之十二	三二七
藥徵	三九
司命	三八三
卷之十三	四〇三
万病一毒	四〇五

医道二千年眼目編

卷之七、卷之十三

醫道二千年眼目編

卷之七
畢

No.		溫知堂醫院藏書				
缺完	入手	刊寫	年代	流派	著者	書名
卷	昭和 年 月 日					
冊	ヨリ					

矢數道明藏書

醫道二千年眼目編卷之七

肥後藩疾醫 邨井杵 著

傷寒論取舍一

中華ノ醫者ハ傷寒論ヲ信ズルモノモ本式ノ信
ズルモノニアラズ故ニ疑フモノモ亦ソノ疑本
式ニコレヲ疑フヲ能ハズ明季ニ至ツテ人々各
各ノ信疑相半ストイヘ亦眞ノ信疑ニアラス
一々枚舉スルニ遑アラズ我ガ

皇和近年醫ノ學ヲ好ムモノアレバ曰我能讀傷

寒論我又能註解傷寒論戸々家々印行ノ書尠ナ
 カラズトモスタゞ我東洞翁ニ至ツテ始メテ仲
 景ノ室ニ入ル如何トナレバ家々戸々コレヲ讀
 ミコレヲ註ストイヘモソノ取捨斟酌タゞ理コ
 レヲ務メタゞ臆コレヲ斷ズ悉ク家々戸々ノ傷
 寒論ニシテ仲景ノ傷寒論ニアラズ何ヲ以テコ
 レヲ謂フトナレバ家々戸々コレヲ今日日用ノ
 事實ニ施シ得ズシテタゞ理コレヲ務メタゞ臆
 コレヲ斷ズレバナリ又如何トモスルコナキノ

三 近年古方家ト稱シ後世家ト呼ブモノ戸々家
家註解ノ書印行スルモノアリコレヲ閱スルニ
仲景氏ノ域ニ遠キヲ甚シ然ルニ今ツノ書海内
ニ行レテ傷寒論ノ學二派三派トナル治療ノ手
段ハ姑ク置クタビツノ因縁アル人ツノ門ニ遊
ンデコレヲ學ブ一ヲ取ツテ以テ依經トス宗論
ノ甚シキ日蓮ガ宗ニ日向日朗アルガ如ク法然
ガ門ニ聖光性空親鸞アルガ如シ何レカツノ成
佛道ヲ具スルヲ知ラズ今ノ醫道ヲ學ブト稱

スルモノハタゞ惜シムラクハコレヲ今日日用
ノ事實ニ施コシ得ズシテイタヅラニ紙上ノ空
論ヲ事トスルニ過ギズソノ一二ノ治驗ヲ見ル
ニ賤シヒカナ古方家ト稱スルモノハ古方便覽
ノ手段ニ過ギズ後世家ノ仲景ノ方ヲ執ルト云
フモノハ醫療手引草古方折義ノ上ニ出ヅルコ
トヲ得ズソノ人以爲我ヨク仲景ノ室ニ入ルト
今其人ヲ見ソノ言ヲ聞クニタゞソノ醫道ノ學
者ニシテソノ治療ノ施ス所又如何ト云フヲ

知ラズコレヲ以テコレヲ觀ルベシソノ言タ
理コレヲ務ムソノ言タゞ臆コレヲ斷ズ然ル寸
ハ天下古今傷寒論ヲ今日日用ノ事實ニ施シ行
フモノタゞ我が東洞翁一人ノミナリコレ二千
年來ノ眼目ヲ開ラクニアラズマソノ取舍斟酌
唯三書ノ内ニ存セリ夫東洞聖人ニアラズ豈ニ
一ニノ過失ナカランヤ故ニソノ足ラザル所ト
ソノ失ヘル所ハ門人弟子タルモノハ勉メテコ
レヲ補ヒコレヲ正シテコレヲ後世ニ明ラカニ